

第3回 (仮称) 明石市協働のまちづくり推進条例検討委員会

《審議内容》

審議事項	審議内容
地域との意見交換会(ワークショップ)まとめについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成23年8月から9月にかけて実施しました地域との意見交換会(ワークショップ)のまとめについて確認し、感想を話し合いました。</li> </ul>
地域において出された意見と「自治会加入に関する調査」結果の要約について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成22年度の「まちづくり懇談会」、平成23年度の「市長懇談会」において地域から出された意見・要望と、明石市連合自治協議会が平成23年8月から9月にかけて市内全自治会を対象に実施した「自治会加入に関する調査」の結果について確認し、感想を話し合いました。</li> </ul>
今後の検討内容について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協働のまちづくりを進めていく中で自治会をどのように位置づけるのか検討する必要があるという意見がありました。</li> <li>● 小学校コミセンの位置づけについて考える必要があるという意見がありました。</li> <li>● 地域のリーダーをどのように育てていくのか、65歳くらいの人にスムーズに地域の活動に参加してもらえるようなテーマや事業を検討していく必要があるという意見がありました。</li> <li>● 活動の継続と責任をもって地域に貢献していくためにも有償のシステムがあったほうが良いという意見がありました。</li> <li>● 民間企業やNPO法人など校区外部の人材をどのように地域に入れていくのか、校区外部の人と協働するためのルールづくりが必要であるという意見がありました。</li> <li>● 小学校区同士が連携・ネットワーク化できるよう、市民センターの役割も含めて検討していく必要があるという意見がありました。</li> <li>● 自分たちだけでまちづくりが出来ない地域をどうしていくのか議論していく必要があるという意見がありました。</li> <li>● 行政は単に補助金、委託金を出すのではなく、地域と共に汗を流すことが重要であるという意見がありました。</li> <li>● 自治会の役割について重要性を認識した上で、他のルートを含めて複合的な情報ルートを検討する必要があるという意見がありました。</li> <li>● まちづくりの担い手の問題や、地域での実施事業内容についても高齢化ということを考慮する必要があるという意見がありました。</li> <li>● 小学校区単位の協働のまちづくりにおいて、今後合併・縮小などの問題が出てきた時にどのように対応するのかということも考慮する必要があるという意見がありました。</li> <li>● これらの意見を基に条例の項目出しを行い、議論していくことになりました。</li> </ul>